

インクルーシブの窓



令和8年2月 富山県教育委員会 教育みらい室 特別支援教育課

富山県総合教育センター発！「連携シート」を紹介してもらいます。

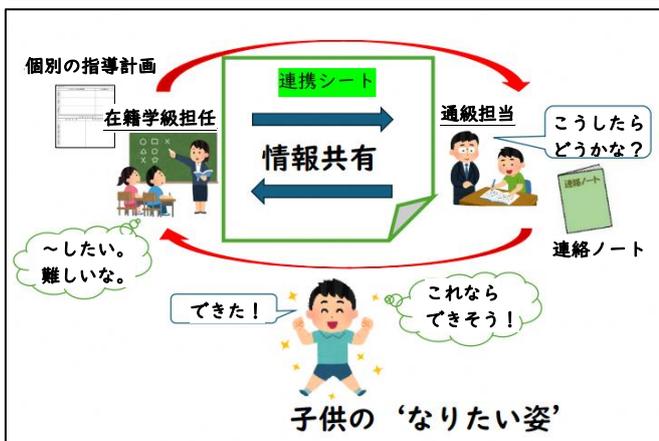


子供の‘なりたい姿’を支えるための

在籍学級と通級による指導をつなぐ連携シート

富山県総合教育センターでは、令和6年度に、通級による指導と在籍学級の指導の連携方法についてアンケートを実施しました。

その結果、通級指導教室での学習内容と子供の様子は、口頭やメモで毎回伝えられていることが多く、両者間でおおむね情報共有されていることが分かりました。日々の様子や活動内容は共有されているのですが、必要な支援や配慮についてもっと情報共有したいというご意見もありました。そこで、気軽に、簡単に、在籍学級担任と通級担当が子供の困りや強みを共有し、通級指導教室で行った支援を在籍学級の指導・支援に生かしていくために「在籍学級と通級による指導をつなぐ連携シート（以下、連携シート）」を作成しました。



担任と通級担当が連携するためのツールとして、「個別の指導計画」や「連絡ノート」等がありますが、この「連携シート」では特に、子供の‘なりたい姿’から見える日々の困りに焦点を絞ることで、通級指導教室での具体の支援が担任に見えやすくなっています。

「連携シート」のメリット

在籍学級担任と通級担当で情報共有をし、
子供の‘なりたい姿’を支えることができます！！

- ・子供の‘なりたい姿’から見える日々の困りを共有できます！
- ・通級指導教室で行っている支援方法を具体的に知ることができます！
- ・担任と通級担当が協働的に支援を考えることができます！
- ・支援の経過がひと目で分かります！そして、個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成に活用できます！

このシートを活用し、みんなで一緒に子供の‘なりたい姿’を支えることを目指しませんか。
様式等は、以下の富山県総合教育センターウェブページからアクセスできます。

(https://www.center.tym.ed.jp/wp-content/uploads/R7tsuukyuu_renkeishi-to_syoukaibun.pdf)



記入例紹介

※記入例は、富山県総合教育センターウェブページからアクセスできます。

<小学校2学年 Aさんの例>



子供のことをよく知っている担任が、やり取りを通して、子供の願いや困りを記入します。

在籍学級と通級による指導をつなぐ連携シート (記入例①)			
年	組	氏名	担任
2	I	A	
		教頭	学年主任
		特支Co	教科担当
		通級担当	担任
			✓
			✓
			✓
支援の経過の記録 I (5月～6月)			
<在籍学級の様子> 担任、教科担当より		<通級による指導の様子> 通級担当より	
子供の'なりたい姿'から見える困り		□考えられるつまずきの要因と◎支援	
<子供の'なりたい姿'> ・準備や片付けが一人でできるようにしたい。 ・授業に遅れないようにしたい。		□ 準備の途中で、他のことに気を取られてしまう。 □ 準備する物が分からない。 ◎ 物を置く場所や整理の仕方を図や写真で示す。 ◎ 動画等で準備の手本を示し、同じようにやってみる。 ◎ 準備物リストや準備の手順表を用意する。	
<子供の困り> ・学習の準備が苦手で、時間がかかる。			
在籍学級での取組		必要な支援と配慮等	
5/30 準備物リストを見ながら取り組もうとしていました。でも、リストの項目が5つだと一人で準備することが難しかったです。物を置く場所は写真を見ながら置くことができました。		5/20 教科ごとに、授業の準備物リストを作って、それを見ながら準備するように促してみてください。	
6/2 クラスでもやってみます。		6/1 準備物の数を減らすために、教科ごとのファイルに教科書やノート等をまとめて入れることを通級で試してみました。準備物が3つのときは一人で準備できました。	
6/7 教科ごとにファイルに分けると使いやすかったです。準備物を3つにしたら、一人でできました。		6/7 いろんな場面で準備物リストを活用してみてくださいね。	

担任の記載を受け、通級担当が、つまずきの要因や支援例を記入します。



<小学校5学年 Bさんの例>



通級担当の支援例を参考に、教室で実施した結果を記入します。

在籍学級と通級による指導をつなぐ連携シート (記入例②)			
年	組	氏名	担任
5	I	B	
		学年主任	特支Co
		教科担当	通級担当
			担任
			✓
			✓
支援の経過の記録 I (5月～6月)			
<在籍学級の様子> 担任、教科担当より		<通級による指導の様子> 通級担当より	
子供の'なりたい姿'から見える困り		□考えられるつまずきの要因と◎支援	
<子供の'なりたい姿'> ・勉強が分かるようにしたい。 ・怒られないようにしたい。		□ 一斉指示や言葉だけの指示では内容を理解することが難しい。 □ 学習内容を理解することが難しい。 ◎ 授業で分からなかった部分ごとを確認し、別の言葉を用いたり、言葉の理解を補助するために、画像や動画をみせたりして説明する。 ◎ 指示を出すときは言葉だけでなく、イラストや文字で視覚的に示し、内容を明確にする。 ◎ 難易度を変えた課題を準備し、自分で選択したり、進めたりする経験を積む。	
<子供の困り> ・授業中、指示されたことをせず、寝ていることが多いです。			
在籍学級での取組		必要な支援と配慮等	
5/30 メモ用紙を提示して指示内容を個別に確認することで活動に参加する時間が伸びてきました。		5/15 することを短く簡潔に伝えると同時に、「①○○、②△△」のようにやることをメモ用紙に書いて視覚的に示してみてください。	
6/5 プリント学習になると寝てしまうことが多かったですが、イラストや選択肢があるプリントも用意し、選択できるようにしておくと、自分で選んで取り組んでいました。		5/31 することが理解できて参加しやすいのだろうと思います。プリント学習のときにイラストや選択肢のあるプリントも用意して、選べるようにしておいてみるのも良いかもしれません。	
		6/6 「これならできると見通しがもて、取り組みやすかったのかもしれないね。準備は大変かもしれませんができる範囲でやってみてください。もし良かったらお手伝いするので声を掛けてくださいね。	

担任の記載を受け、通級担当が、コメントや新たな支援例を記入します。

